



2023 デンマーク「高齢者福祉施設と在宅看護サービス」 「ホーセホル開放刑務所と薬物依存症者の社会復帰」

日次	月日(曜)	都市名	発着	交通機関	時刻	モデル日程	宿泊・食事(朝・昼・夕)
1	2/25(土)	羽田空港	発	航空機	23:45	(羽田集合 21:30)	機内泊(一機)
2	2/26(日)	各都市 コペンハーゲン	着	公共交通	朝 08:00	午前、自由観察 「ユニバーサルデザイン研修調査」 (地区診断・該当地域周辺の高齢者からの目線) 公共交通を使って	コペンハーゲン(機一)
3	2/27(月)	コペンハーゲン		公共交通	午前 " 昼 午後	① コペンハーゲン専門大学の看護学部 - 訪問看護プロジェクト - 薬物治療の看護 - 研究発表会(日本とデンマーク) 教員とおしの交流昼食会 - ナースプラクティショナーの役割	コペンハーゲン(〇一)
4	2/28(火)	コペンハーゲン		公共交通	午前 " 午後	② 「ホーセホル開放刑務所」(★終日通訳同行) 高齢受刑者に対する処遇も含めて視察 ③ 「裁判公聴会(薬物事犯)」(予定)	コペンハーゲン(〇一)
5	3/1(水)	コペンハーゲン		公共交通	午前 " 午後	④ 「社会復帰のボランティア家族支援団体」(★通訳同行) ⑤ 「高齢者福祉施設」(★通訳同行)	コペンハーゲン(〇一)
6	3/2(木)	コペンハーゲン 各都市	発 発 発	公共交通 航空機 "	午前 昼 夕刻	ホテルから空港へ	機内泊(〇一機)
7	3/3(金)	羽田空港	着	"	14:45		(機一)



コペンハーゲン郊外の開放刑務所
深い森に囲まれた風光明媚な環境にこの開放刑務所があります。31の拘留所を含む271の施設を持つ扉のないオープン刑務所。デンマーク刑務所保護観察局の一部です。1947年に運用を開始。もともとは第一次世界大戦後のロシア、ドイツ、オーストリアの捕虜の使用に建てられた兵舎です。コペンハーゲンはもとよりニュージーランドからの男性受刑者も受入ています。薬物中毒患者の治療とアフターケアと教育の部門を備えています。

【企画要項】

- 概算予定代金:
お問合せ下さい
※別途、燃油空港諸税・海外保険など
- 最低催行人員: 6名様以上
- 旅行形態: 募集型企画旅行
- お食事: 朝4、昼0、夕0回
- ホテル: 4ツ星ホテル
(ツイン1室2名・同室)
- 一人部屋追加代金: 42,000円
- 申込締切日: 12/19(月) 一次
※但し定員8名になり次第締切ります
- この旅行条件は2022年10月1日を基準日として、現行航空運賃にて算出しております。

申込・問合せは下記サイトより
<http://atlasstudytours.com/cn>
17/pg1139.html




※施設の急な事情により、やむを得ず視察先が変更になったり、順路が変わることもありますので予めご了承願います。

「デンマークの社会福祉に学ぶ」_ 高齢者及び薬物依存症者の自立と福祉

デンマークは他の北欧諸国とともに、充実した福祉制度を備えていると言われており、医療費が全て無料で福祉制度が非常に行き届いていることで知られています。幸福度では「世界で最も幸せな人々」(国連報告)とされています。近代的社会保障制度は、19世紀末の老齢年金の創設で始まったと言われていいます。高齢者についてはできるだけ長く通常の社会生活を行えるように支援体制が作られています。

デンマークでは大麻・その他の薬物の使用率は増加傾向にあります。裁判所により有罪の判決を受けると、一般には開放刑務所での処遇となり、また、重大な罪を犯した者は閉鎖刑務所での処遇となります。デンマークの矯正保護局は刑務所と保護観察所が一体となり法務省が管轄しています。法務省の犯罪者に対する考え方は「刑務所は懲役を受ける最後の場所で、受刑期間ができる限り短期間とする。受刑中は社会復帰を目標に教育・職業訓練など多様な処遇を用いる」としています。解放刑務所では、コミュニティ・サービス・オーダーという拘禁刑の代替手段であり、刑罰の一形態であります。今回の視察では、デンマークの高齢者や薬物依存症者がどのような支援を受けているか。そうした自立した生活を行うための支援の在り方を学びます。



デンマークでは、税金を主な財源として、地方自治体(kommuner)が訪問看護を含む在宅ケアサービス提供の責任を担っている。デンマークでは「住まいとケアの分離」がすすんでおり、介護施設に居住する者に対し、看護師や介護士が施設外部から訪問サービスを提供することも特徴の一つとされています。

デンマークにおける福祉制度の発展は、高齢者、身体障がい者、精神障がい者、母子家庭等に分けられていた福祉関係法を一本化して、日常生活が困難になった国民全てを対象にすることとし、福祉制度に関する総合的な枠組みを構築しました。

また、高齢者福祉政策の方向性が示され、それまで政策の中心であった高齢者施設の新規建設が禁止され、高齢者住宅への移行と24時間の在宅ケア体制の整備がすすめられました。

<一ロメモ>

- ◆2月の最高気温4℃、最低気温-1℃
- ◆人口: コペンハーゲン市域 80万人
デンマーク 579万人
- ◆高齢化率と合計特殊出生率:
デンマーク: 20.34% 1.67人
日本: 28.70% 1.34人
- ◆時差: -8時間(日本より遅れている)
- ◆通貨: デンマーク・クローナ(DKR)=20円(10/1)
- ◆電圧: 220V、C型プラグ(丸2穴)
- ◆査証: 不要(3ヶ月以内の観光に限り)
- ◆パスポート残存有効期間:
: 帰国時4ヶ月以上が望ましい。

視察企画について

この視察企画のご案内は、過去の視察実績をもとに、モデル日程に沿って手配する旅行です。従いまして、現時点で視察先が確保されたものではありません。また直前に、急患・担当者の交代・組織の変更など視察先の事情により訪問できなくなる場合があります。その際は、出来る限り代替の訪問先をご提案させていただきます。なお、暫定日程はご出発の21日前までに通知予定ですが、途中、変更点などありましたら、随時ご案内させていただきますので、予めご了承願います。